

問 8 会話文読解

(本文の日本語訳)

ミカ、クリス、ジョン、アヤコは、グリーン先生のクラスで議論について学んでいます。彼らは2つの異なるチームで、動物園について議論します。

グリーン先生：はい、皆さん、私たちの議論を始めましょう。話題は「私たちは動物園を持つべきかどうか?」です。ジョンとアヤコ、あなたたちはチームとなり、あなたたちの意見は「私たちは動物園を持つべきだ」です。クリスとミカ、あなたたちの意見は「私たちは動物園を持つべきではない」です。いいですか? 2つのチームの意見は異なります。私たちは議論の練習をしようとしていることを忘れないでください。意見をやり取りすることで多くを学ぶことができます。クラスの他の人たちは、各チームの話を注意深く聞いてください。ミカ、あなたから始めてください。

ミカ：私たちはこれ以上動物園を持つべきではありません。動物園の動物たちは自然の生息地から連れ去られ、檻に入れられます。それは残酷で正しくないと思います。私たちの都合のために動物園で動物を飼育してはいけません。

グリーン先生：はい、それはいい意見ですね。

ジョン：動物園では動物たちは安全な場所で飼育員に世話をしてもらいます。動物たちはエサを与えられ、保護されています。彼らは檻の中にいますが、ふつうは生活するための広い場所があります。だから、彼らは自由に動き回ることができます。また、私たちは動物園を訪れると動物について学ぶことができます。動物園は動物と人間の両方にとって素晴らしいと思います。

アヤコ：もう1つ言いたいことがあります。皆さんも以前に動物園に行ったことがあると思います。そこで楽しんでいませんか? そこで動物についておもしろいことを学びませんか? 動物園は子どもたちにとって素晴らしい場所です。彼らは多くのいろいろな種類の本物の動物を見ることができからです。子どもたちは動物園なしでは動物について学ぶことができないでしょう。

クリス：子どもたちはテレビで番組を見ることによって動物について学ぶことができます。動物についてとてもたくさん本もあります。ここに興味深いデータがあります。グラフを見てください。ほとんどの人が10年以上、動物園や水族館を訪れていません。

ミカ：約2.5%の人たちしか2か月に1回以上動物園や水族館を訪れていません。また、「5～10年に1回」の数は「1年に1回」の数より多いです。動物について学ぶために子どもたちを動物園に連れていく人は多くないと思います。

アヤコ：ええ、だけど動物園は動物を保護するために重要な場所だと思います。一部の動物は自然の生息地で食べ物を十分に見つけることができないし、他の動物に殺されてしまいます。彼らは動物園の中では安全です。

クリス：それは食物連鎖の一部です。それは地球上で自然なことです。

グリーン先生：それはすべての生物にとって非常に重要なことです。誰かそれについて何か言いたい人はいますか?

ミカ：はい、私は言いたいです。動物園には動物たちにとって十分な空間があるように見えますが、檻の中あるいは閉鎖された空間で生活することは彼らにとって自然な生き方ではありません。

ジョン：動物は動物園での生活によって保護されています。彼らは野生では他の動物に攻撃されたり食べられたりすることについて、いつも心配する必要があります。しかし檻の中で分かれて生活することによって、彼らは他の動物のことを心配する必要はありません。

クリス：多くは自然の生息地で動物を保護できると思います。他の動物に食べられるのは動物の世界では自然なことです。人間は彼らの自然な生き方に立ち入るべきではありません。実際に動物園でトラやライオンを見たことはありますか。彼らは幸せそうに見えませんが、人々は野生動物を檻に入れることで保護していると考えていますが、それは正しいことだとは思いません。

アヤコ：私はまだ、子どもたちが動物について知るために動物園が必要だと思います。テレビで番組を見ただけでは十分ではありません。

ミカ：だけど、子どもたちは動物園で動物の現実の生活を見ることができません。それは彼らの自然な生き方ではないからです。テレビのドキュメンタリーは動物の現実の生活を見せていると思います。子どもたちが現実を学ぶことは重要だと思います。

グリーン先生：わかりました。どちらのチームも素晴らしい議論をしました。議論についてどう思いますか?

ジョン：とても楽しかったですが、難しかったです。

クリス：そうですね。意見を述べることは簡単ではありません。

ミカ：私はこのように自分の意見を共有することはふだんはないので、最初はとても緊張していました。

アヤコ：でも、あなたはすばらしかったわ、ミカ。たくさん練習することで、議論がより上手にできると思います。

グリーン先生：はい、そうです。議論を練習する別の方法があります。

クリス：それは何ですか?

グリーン先生：あなた方が次回、反対のチームに入ることです。そうすれば、はるかに多くを学ぶことができます。ということで来週それを行いましょう。

ミカ：いいですね。違ったように考えることは難しいですが、それは良い練習になると思います。楽しみにしています。